



2020年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月31日

上場会社名 株式会社キングジム 上場取引所 東
 コード番号 7962 URL <https://www.kingjim.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 彰
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理本部長 (氏名) 原田 伸一 (TEL) 03-3864-5883
 四半期報告書提出予定日 2020年1月31日 配当支払開始予定日 2020年3月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第2四半期の連結業績(2019年6月21日～2019年12月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第2四半期	15,291	△2.6	108	△60.8	255	△40.2	160	△31.2
2019年6月期第2四半期	15,695	△0.8	275	△48.8	428	△33.8	232	△44.1

(注) 包括利益 2020年6月期第2四半期 329百万円(-%) 2019年6月期第2四半期 △44百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第2四半期	5.64	5.62
2019年6月期第2四半期	8.19	8.16

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期第2四半期	28,632	21,490	74.7	752.06
2019年6月期	26,132	21,334	81.3	747.47

(参考) 自己資本 2020年6月期第2四半期 21,375百万円 2019年6月期 21,244百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	7.00	—	7.00	14.00
2020年6月期	—	7.00			
2020年6月期(予想)			—	10.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年6月21日～2020年6月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,500	0.5	1,200	△14.0	1,400	△14.5	1,000	3.8	35.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年6月期2Q	32,459,692株	2019年6月期	32,459,692株
2020年6月期2Q	4,037,295株	2019年6月期	4,037,227株
2020年6月期2Q	28,422,401株	2019年6月期2Q	28,422,465株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益に弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあり、景気は緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、国際的な通商問題や海外経済の不確実性等、先行きの不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、新たな需要を獲得するべく、引き続き積極的な新製品投入を行いました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、親会社である当社の売上高は堅調に推移したものの、国内子会社の売上高が低迷しており、売上高は152億9,127万円（前年同期比2.6%減）となりました。利益面では、売上高の減少により、販売費及び一般管理費率が前年同期に比べて上昇したため、営業利益は1億805万円（前年同期比60.8%減）、経常利益は2億5,599万円（前年同期比40.2%減）となりました。特別利益として、当社の旧仙台営業所の土地と建物の売却による固定資産売却益が計上され、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億6,032万円（前年同期比31.2%減）となりました。

また、キングジムグループ各社の商品を集めた展示イベント「キングジムフェア」は、従来から開催している12月に加えて、2019年には初めて7月にも開催し、延べ4万人を超えるお客様にご来場いただきました。

今後も、このようなイベント等も生かしながら、市場への一層の浸透を図り、需要の拡大に取り組んでまいります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 文具事務用品事業

ステーショナリーにおきましては、マグネットやゴムの力で簡単に開閉できる新感覚のペンケース「パカリ」や、便箋風のデザインをあしらったふせん「便箋ふせん」、ポスターなどの収納に便利な大きなファイル「ポスターファイル」を発売いたしました。

電子製品におきましては、スマホで操作できる手のひらサイズのラベルプリンター「テブラ」 Lite LR30や、増加する訪日外国人とのコミュニケーションに活用できる翻訳機「ワールドスピーク」に、据え置きタイプとポータブルタイプの2種を発売いたしました。オフィス環境改善用品では、2017年に発売した扉の向こう側に人がいる事を点滅してお知らせする「扉につけるお知らせライト」に無線タイプを追加発売した他、防災用品シリーズについてもラインアップ拡大を図りました。その他、必要な時に必要な分だけ梱包材を作成できるエアクッションメーカー「エアフィット」を発売いたしました。

この結果、ステーショナリー、電子製品の売上高は共に前年を超え、売上高は121億2,120万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は、販売費及び一般管理費が前年同期に比べて増加したため、1億1,584万円（前年同期比51.4%減）となりました。

なお、当社は2019年12月に香川県高松市にある作業用手袋の製造・販売を行っているウインセス(株)および(有)ウインズの株式を取得し子会社化する株式譲渡契約を締結いたしました。3社は販売面での補完関係など、相互の経営資源を有効に活用して企業価値を向上させ、事業拡大を目指します。2020年6月期の連結業績に与える影響は軽微となる見通しであります。

② インテリアライフスタイル事業

㈱ぼん家具では、楽天市場などのECモールにて、主力の家具を中心に消費税増税後の需要減退をできるだけ抑制すべく、売価調整や広告施策を効果的に使い、拡販に努めてまいりました。今後は、PayPayモールなどへの新規出店による売上高の増加を目指してまいります。㈱アスカ商会では、最新のトレンドに調和するクリスマスならびに正月商品の拡充を図り、拡販してまいりました。今後は、公共スペースに多用していただける観葉植物やアーティフィシャルグリーンの新商品を投入し、拡販に努めてまいります。㈱ラドンナでは、加湿器の多様なラインアップや温かリラクゼーションシリーズなど、冬の需要期に向けて季節商材の展開強化を行いました。また、「Tofly」キッチン家電シリーズでは、人気商品のリッチブラックシリーズの追加投入を行うなど、顧客層の拡大に取り組みしました。

この結果、各種の拡販施策を行いました。3社共に売上高が前年割れとなったため、売上高は31億7,006万円（前年同期比16.6%減）、売上高の低迷が響き、営業損失は2,062万円（前年同期は3,145万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して、24億9,949万円増加し、286億3,215万円となりました。これは主に、現金及び預金や商品及び製品が増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して、23億4,354万円増加し、71億4,169万円となりました。これは主に、短期借入金や支払手形及び買掛金が増加したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して、1億5,594万円増加し、214億9,046万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して8億1,904万円増加し、51億8,726万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、前年同期に比べ4億1,480万円減少し、1,363万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益3億427万円や仕入債務の増加額11億2,680万円があった一方、たな卸資産の増加額14億4,659万円や法人税等の支払額3億9,043万円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前年同期に比べ731万円増加し、1億8,326万円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入2億7,121万円や有形及び無形固定資産の売却による収入8,955万円があった一方、有形及び無形固定資産の取得による支出3億5,662万円や定期預金の預入による支出1億8,480万円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、前年同期に比べ8,609万円増加し、10億1,621万円となりました。これは主に、配当金の支払いによる支出1億9,911万円があった一方、短期借入金の純増額12億1,000万円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年1月29日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,658,771	5,391,814
受取手形及び売掛金	4,752,922	4,712,847
商品及び製品	5,985,143	7,381,530
仕掛品	371,864	455,190
原材料及び貯蔵品	1,441,439	1,403,655
その他	391,501	410,375
貸倒引当金	△5,076	△5,498
流動資産合計	17,596,567	19,749,914
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,738,083	5,733,772
減価償却累計額	△3,464,803	△3,453,642
建物及び構築物(純額)	2,273,279	2,280,130
機械装置及び運搬具	2,643,014	2,672,290
減価償却累計額	△2,271,910	△2,338,570
機械装置及び運搬具(純額)	371,104	333,720
土地	1,615,277	1,592,177
建設仮勘定	24,718	80,115
その他	2,787,619	2,855,089
減価償却累計額	△2,542,327	△2,582,712
その他(純額)	245,291	272,376
有形固定資産合計	4,529,671	4,558,520
無形固定資産		
その他	335,504	408,168
無形固定資産合計	335,504	408,168
投資その他の資産		
投資有価証券	2,123,494	2,337,042
退職給付に係る資産	991,211	1,005,502
繰延税金資産	145,417	151,809
その他	414,610	424,981
貸倒引当金	△3,813	△3,783
投資その他の資産合計	3,670,920	3,915,552
固定資産合計	8,536,097	8,882,241
資産合計	26,132,664	28,632,155

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,745,822	2,866,574
短期借入金	—	1,210,000
未払法人税等	400,219	131,166
未払金	660,889	780,500
役員賞与引当金	33,796	8,243
その他	837,037	895,004
流動負債合計	3,677,765	5,891,488
固定負債		
繰延税金負債	457,168	556,063
退職給付に係る負債	364,270	393,780
資産除去債務	21,283	21,417
その他	277,657	278,943
固定負債合計	1,120,380	1,250,205
負債合計	4,798,146	7,141,693
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,978,690	1,978,690
資本剰余金	2,383,666	2,383,776
利益剰余金	20,506,886	20,468,256
自己株式	△3,567,808	△3,567,866
株主資本合計	21,301,434	21,262,856
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	522,505	672,368
繰延ヘッジ損益	△2,826	307
為替換算調整勘定	△409,096	△415,463
退職給付に係る調整累計額	△167,068	△144,689
その他の包括利益累計額合計	△56,485	112,522
新株予約権	89,569	109,292
非支配株主持分	—	5,789
純資産合計	21,334,518	21,490,462
負債純資産合計	26,132,664	28,632,155

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年6月21日 至2018年12月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年6月21日 至2019年12月20日)
売上高	15,695,759	15,291,274
売上原価	9,635,604	9,439,185
売上総利益	6,060,154	5,852,088
販売費及び一般管理費	5,784,763	5,744,032
営業利益	275,391	108,056
営業外収益		
受取利息	5,163	5,445
受取配当金	44,663	52,794
為替差益	27,012	10,401
受取賃貸料	79,850	77,767
その他	25,182	32,255
営業外収益合計	181,872	178,665
営業外費用		
支払利息	1,583	1,877
賃貸収入原価	24,591	24,236
その他	2,866	4,608
営業外費用合計	29,041	30,722
経常利益	428,222	255,999
特別利益		
固定資産売却益	—	62,764
特別利益合計	—	62,764
特別損失		
固定資産売却損	—	1,082
固定資産除却損	6,258	13,404
特別損失合計	6,258	14,486
税金等調整前四半期純利益	421,964	304,277
法人税、住民税及び事業税	141,086	128,020
法人税等調整額	38,665	15,980
法人税等合計	179,751	144,001
四半期純利益	242,212	160,275
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	9,315	△51
親会社株主に帰属する四半期純利益	232,897	160,327

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月21日 至 2018年12月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月21日 至 2019年12月20日)
四半期純利益	242,212	160,275
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△366,192	149,863
繰延ヘッジ損益	△915	3,133
為替換算調整勘定	52,140	△6,366
退職給付に係る調整額	27,815	22,378
その他の包括利益合計	△287,152	169,008
四半期包括利益	△44,939	329,284
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△52,391	329,336
非支配株主に係る四半期包括利益	7,451	△51

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月21日 至 2018年12月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月21日 至 2019年12月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	421,964	304,277
減価償却費	299,356	285,989
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,972	416
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	15,775	33,687
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	9,486	12,532
受取利息及び受取配当金	△49,827	△58,240
支払利息	1,583	1,877
為替差損益(△は益)	△5,001	△14,725
固定資産除売却損益(△は益)	6,258	△48,278
売上債権の増減額(△は増加)	13,233	37,885
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,717,679	△1,446,593
その他の資産の増減額(△は増加)	△14,812	△2,005
仕入債務の増減額(△は減少)	972,634	1,126,804
未収消費税等の増減額(△は増加)	△88,979	△31,027
未払消費税等の増減額(△は減少)	△29,574	△24,277
その他の負債の増減額(△は減少)	△26,212	129,279
その他	11,254	1,959
小計	△184,512	309,562
利息及び配当金の受取額	49,825	58,226
利息の支払額	△1,468	△1,700
法人税等の支払額	△332,555	△390,438
法人税等の還付額	40,271	10,710
営業活動によるキャッシュ・フロー	△428,440	△13,639
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△262,819	△356,622
有形及び無形固定資産の売却による収入	—	89,556
敷金及び保証金の差入による支出	△1,148	△9,144
敷金及び保証金の回収による収入	20,150	9,789
定期預金の預入による支出	△153,600	△184,800
定期預金の払戻による収入	224,802	271,214
その他	△3,342	△3,262
投資活動によるキャッシュ・フロー	△175,956	△183,269
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,230,000	1,210,000
長期借入金の返済による支出	△16,000	—
配当金の支払額	△284,092	△199,112
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	—	5,950
その他	205	△625
財務活動によるキャッシュ・フロー	930,112	1,016,211
現金及び現金同等物に係る換算差額	28,262	△254
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	353,978	819,047
現金及び現金同等物の期首残高	4,466,318	4,368,219
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,820,296	5,187,267

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年6月21日至2018年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	文具事務用品 事業	インテリア ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,896,678	3,799,080	15,695,759	—	15,695,759
セグメント間の内部売上高 又は振替高	32,560	108,304	140,864	△140,864	—
計	11,929,238	3,907,384	15,836,623	△140,864	15,695,759
セグメント利益	238,290	31,458	269,749	5,641	275,391

(注) 1. セグメント利益の調整額 5,641千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年6月21日至2019年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	文具事務用品 事業	インテリア ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,121,206	3,170,068	15,291,274	—	15,291,274
セグメント間の内部売上高 又は振替高	46,980	112,334	159,315	△159,315	—
計	12,168,186	3,282,402	15,450,589	△159,315	15,291,274
セグメント利益又は損失(△)	115,847	△20,624	95,223	12,832	108,056

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額 12,832千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。